



<校訓：明るく 強く 正しく>

□学校教育目標

心豊かな子 たくましい子 自ら学ぶ子

□学校像：子どもたちが嬉々として登校し充実感に満ちて家路につく学校

□経営キーワード：～「希望」「安全・安心」そして「連携」＝ 学好～



合 言 葉

<あいさつと笑顔にあふれる学校>



— みんな友達 笑顔の原小(元気・やる気・勇氣)

平成30年度 重点目標

- ◆一人ひとりの胸に夢や希望がもてる教育を推進する。
- ◆学力を分析し指導方法を工夫するとともに「わかった」「できた」と生き生き学ぶ授業づくりを目指す。
- ◆運動の特性にふれる楽しさを味わわせ、体力の向上を図るとともに体育的活動の充実を目指す。
- ◆「特別な教科 道徳」を踏まえ、児童の道徳性を高め、家庭、地域と連携して豊かな心をはぐくむ。
- ◆国際的視野をはぐくむ「グローバル・スタディ」の指導を充実させる。
- ◆中学校加配教員の活用を一層図り、小中一貫性のある学習指導や生徒指導を推進する。
- ◆保護者、地域と連携し年間を通じたあいさつ運動を行い、心と心が響き合う豊かな心をはぐくむ。
- ◆いじめを未然に防ぐよう子どもに寄り添う。
- ◆風通しのよい職場づくりと「迅速」「誠実」をもって対応できる職員組織を構築する。
- ◆安全で潤いのある教育環境づくりを推進する。
- ◆地域の教育力を一層活用し、家庭、地域と共に子どもたちを育てる「原山小ふるさとづくり」に努める。

確かな学力のはぐくみ

- ◆組織的な学力向上のための指導体制づくり
- ◆学力の課題把握と個を伸ばす授業等の改善
- ◆原山小学習スタンダードの着実な実践
- ◆基礎学力を身に付けるぐんぐんタイム
- ◆学力向上を高める少人数指導の充実
- ◆教科指導における安全の確保と事故防止
- ◆小中一貫における学力向上の方策と実践
- ◆グローバル・スタディの研修の充実

豊かな心のはぐくみ

- ◆ふれあい、心が通い合う学年・学級づくり
- ◆よりよく生きようとする力を引き出す道徳教育
- ◆家庭・地域とともに心をはぐくむ連携の構築
- ◆いじめ、不登校への迅速で組織的な取組
- ◆子どもからのサインを見逃さず、「点から線、線から面」となる校内体制の構築
- ◆生徒指導委員会を核とした迅速な共通理解

健やかな身体のはぐくみ

- ◆夢中になって取り組む体育授業づくり
- ◆課題に即したパワーアップタイムの継続
- ◆体力アップメニューの活用と家庭との連携
- ◆活動の安全の確保 (ASUKA モデルの活用)
- ◆自分の命を自分で守る力の育成
- ◆アレルギー疾患等への保護者との連携と事故防止

豊かなかわり合いのはぐくみ

- ◆あいさつ通りでのあいさつ運動の充実
- ◆全校体制での交流、共同学習の充実
- ◆外遊びを通しての心のふれあい
- ◆地域の方々との積極的なふれあい
- ◆人間関係プログラムの結果の有効活用と教育相談の一層の充実及び家庭との連携強化

安全で潤いのある教育環境

- ◆危機管理体制の一層の強化 (各マニュアルの活用)
- ◆施設・設備の日常点検の徹底と教委との連携
- ◆花とみどりの学校づくり
- ◆安全で美しく整えられた環境づくり

家庭・地域との連携

- ◆「特別な教科 道徳」の研究内容の発信と心をはぐくむ連携の推進
- ◆保護者、地域の力を活用した読み聞かせの充実
- ◆PTAと連携した道徳教育、学力・体力向上の推進
- ◆ハッピーマンデーの拡充と基本的な生活習慣の確立
- ◆近隣の方々とのよりよい関係づくり

チーム原山

- ◆笑顔を鍛える (温かく見守る姿勢)
- ◆迅速・誠実・アフターケア (謙虚な姿勢)
- ◆教育への情熱と子どもへの愛情 (ひたむきな姿勢)

